

浸水想定区域は、ため池が決壊したときに浸水すると予想される区域を示したものです。

この浸水予測にあたっては、ため池が満水時に決壊した場合を想定しており、異常な気象、洪水による地形条件等の変化や周辺の河川、水路のはん濫等を考慮していません。そのため、この浸水想定区域以外の周辺区域に想定以上の浸水が広がる可能性があります。

なお、図中に記載の時間は、ため池が決壊してから洪水が到達するまでの時間を示しています。

※状況に応じて適切に行動してください。

上流域の雨量や河川水位にもご注意ください。

雨量・河川水位情報

山口県土木防災情報システム

パソコン用

<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/>

携帯用

<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/k/>

スマートフォン用

<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/sp/>

携帯用

スマートフォン用

QRコード

下関地方气象台

<https://www.jma-net.go.jp/shimonoseki/>

気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

凡例

● 避難所

災害発生時、被災者が一定期間滞在することができる施設等。

● 緊急避難場所

災害が差し迫った状況や発災時において、緊急的に避難し身の安全を確保することができる場所。

■ ため池

浸水深

5.0m以上

2.0m～5.0m未満

1.0m～2.0m未満

0.5m～1.0m未満

0.5m未満

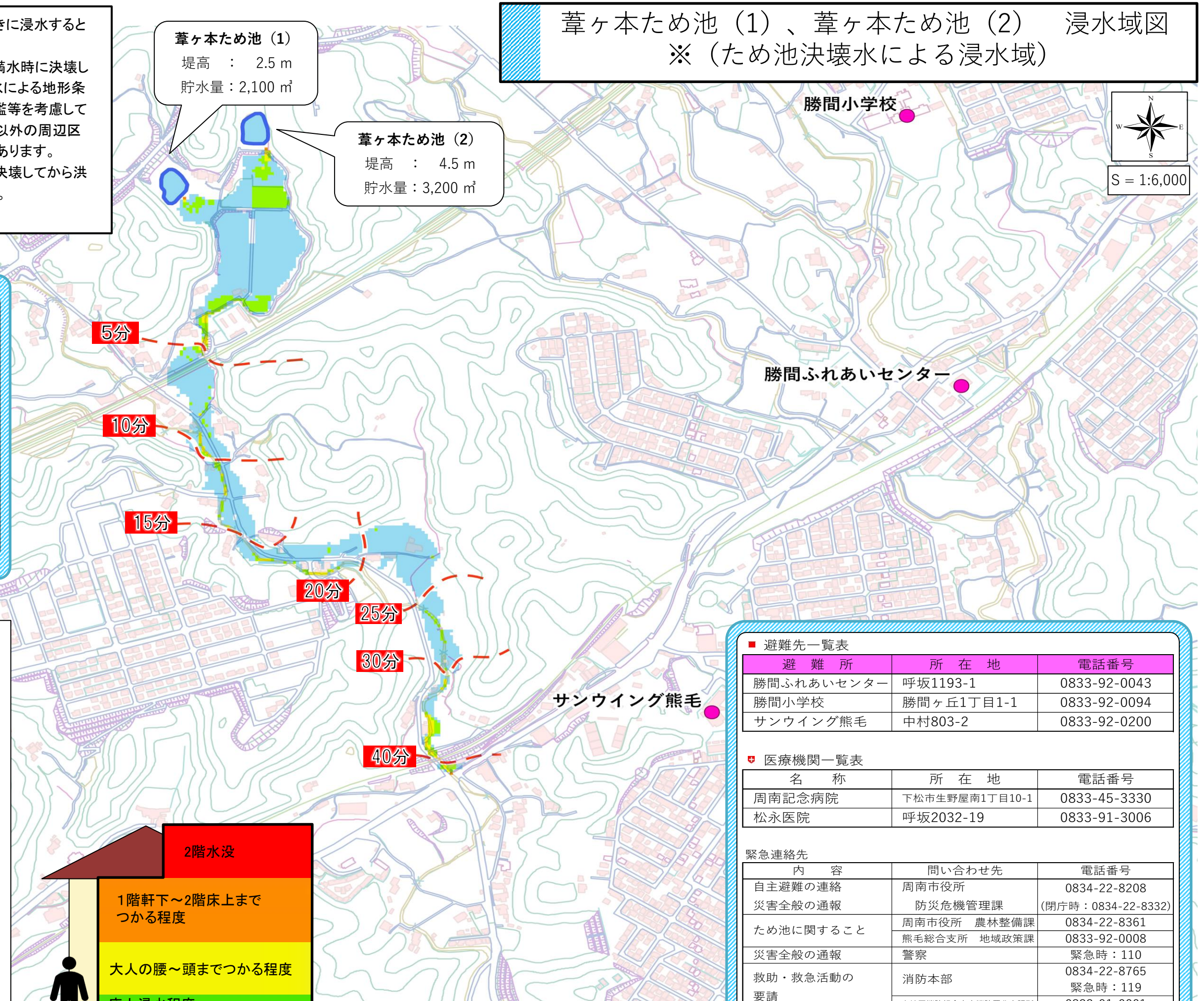
2階水没

1階軒下～2階床上までつかる程度

大人の腰～頭までつかる程度

床上浸水程度

大人のひざまでつかる程度



■ 避難先一覧表

避難所	所在地	電話番号
勝間ふれあいセンター	呼坂1193-1	0833-92-0043
勝間小学校	勝間ヶ丘1丁目1-1	0833-92-0094
サンウイング熊毛	中村803-2	0833-92-0200

■ 医療機関一覧表

名称	所在地	電話番号
周南記念病院	下松市生野屋南1丁目10-1	0833-45-3330
松永医院	呼坂2032-19	0833-91-3006

緊急連絡先

内容	問い合わせ先	電話番号
自主避難の連絡	周南市役所	0834-22-8208
災害全般の通報	防災危機管理課	(閉庁時：0834-22-8332)
ため池に関すること	周南市役所 農林整備課	0834-22-8361
	熊毛総合支所 地域政策課	0833-92-0008
災害全般の通報	警察	緊急時：110
救助・救急活動の要請	消防本部	0834-22-8765
	光地区消防組合中央消防署北出張所	緊急時：119 0833-91-0001

葦ヶ本（1）ため池+葦ヶ本（2）ため池 同時決壊ハザードマップ



ため池ハザードマップは、豪雨・地震等により、万が一ため池が決壊した場合の備えとして、安全な避難活動に役立てるための情報を記載しています。
ため池は、「かんがい」という本来の機能のほかに、多面的機能の一つとして、降った雨を貯留し、下流の農地・農業用施設のほか、公共施設・宅地等への被害を軽減する洪水調節機能も有しています。

わが家の防災メモ					
家族で話し合って書き込みましょう					
わが家の避難場所：					非常持ち出し品チェックリスト
家族の集合場所：					☐ ☐ 懐中電灯 （ ☐ ☐ 電池）
緊急時の連絡先：					☐ ☐ ろうそく （ ☐ ☐ マッチ）
家族の氏名	生年月日	血液型	既往症	携帯電話/会社・学校の連絡先	☐ ☐ 携帯ラジオ （ ☐ ☐ 電池）
					☐ ☐ 水
					☐ ☐ 食料品 （ ☐ ☐ 缶きり等）
					☐ ☐ 医薬品
					☐ ☐ 現金・貴重品
					☐ ☐ 衣類（雨カッパ・下着類）
メモ					

ハザードマップについて

このハザードマップの目的

葦ヶ本（1）ため池と葦ヶ本（2）ため池は、ともに農業用水の取水施設であり、洪水調節機能を有しています。
しかしながら、近年の大型地震や集中豪雨等によるため池災害が発生しており、また災害に至らなくても非常に危険な状態になり、下流域の住民が避難を余儀なくされる事態が発生しています。
このことから、ため池が決壊するといった最悪の事態を想定し、決壊による浸水被害想定と避難対策等の情報をわかりやすく住民の皆さんに提供することを目的に作成したものです。

日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路や家族の連絡先などを書き込んでおきましょう。

このハザードマップを目につく場所において、いつでも確認できるようにしておきましょう。

浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主的避難を心がけましょう。

みなさんが災害について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動ができるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身に付けておくことが大切です。

避難の際の注意事項！！

早めの避難を！

- ◆ 道路や地面が浸水する前に避難することが望ましいです。浸水してしまった場合は、まず高所へ避難しましょう。
- ◆ 高齢の方・身体の不自由な方・子供等は、避難に時間がかかります。早めの避難を心がけましょう。
- ◆ 荷物は貴重品・食料・衣料・日用品など必要最小限のものにしましょう。

避難は2人以上で！

- ◆ 裸足・長靴は危険です。ひもでしめられている運動靴で避難しましょう。
- ◆ 近所と声をかけ合って、家族やグループで行動しましょう。
- ◆ 避難は必ず歩いてしましょう。車やバイクでの移動は、流されたり転倒することもあり非常に危険です。
- ◆ 避難には、高い場所にある道路を選びましょう。

足下に注意！

- ◆ 普段は見えていた水路・樹・段差など、洪水のときは冠水して見えづらくなっています。十分に注意して移動しましょう。
- ◆ 水深がひざまでであるようなら、無理をせず高所で救助を待ちましょう。
- ◆ はぐれないように、お互いの体をロープで結んで避難しましょう。

雨の具合で危険度をチェックしましょう

危険を感じたらすぐに避難を！



やや強い雨
（1時間に10～20mm）
地面からの跳ね返りで足下がぬれる。雨の音で話がよく聞き取れない。



強い雨
（1時間に20～30mm）
地面一面に水たまりができる。側溝・下水・小さな川があふれ、小規模の崖くずれが始まる。



激しい雨
（1時間に30～50mm）
バケツをひっくりかえしたようにふる。山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。



非常に激しい雨
（1時間に50～80mm）
滝のようにふる。都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。土石流などの多くの災害が発生する。



猛烈な雨
（1時間に80mm以上）
息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。雨による大規模な災害の発生するおそれ強く厳重な警戒が必要。

連絡・通報先

周南市 防災危機管理課	0 8 3 4 - 2 2 - 8 2 0 8
周南市 農林整備課	0 8 3 4 - 2 2 - 8 3 6 1
熊毛総合支所 地域政策課	0 8 3 3 - 9 2 - 0 0 0 8
消防本部	0 8 3 4 - 2 2 - 8 7 6 5（緊急時：1 1 9）
警察署	1 1 0

危険だと感じたら
すぐに連絡

